

応報

あさひ

58年

12月号

No.340 / 毎月1日発行

編集・発行 / 朝日町役場 〒939-07 富山県下新川郡朝日町沼保810-5 ☐電話 / 0765-83-1100

—健康づくりシリーズ—

カゼの予防はうがいから！

昭和57年中



火災の30%は冬期間に

原因はコンロとストーブ

現在、12月2日までの予定で秋の全国火災予防運動が展開されています。なぜこの時期に、火災予防運動が行われるのでしょうか。

それは、一年間に起きる火災の約30%が12月から2月までの冬期に集中しているためで、この時期は、やはり、コンロ、ストーブ、コタツといった火器が使われ、これの原因とする火災が増えることによるのです。

火災の恐ろしさは、体験して初めて分かると言われます。しかし、わずかな数分であな

たの家を、財産を、あまつさへ「生命」まで奪ってしまう火災を体験してから分かって、手遅れです。

昭和57年中には、毎日166件の火災が発生し、5人ずつの尊い生命が失われました。

なんと、9分に1件の割合で火災が発生し、幸せな生活を脅かしていたのです。

火災はなぜ起きる

「たばこという「火種」が、投げ捨てという「行為」を経て、紙くずに「着火」した」というように、火災に至るまでには必ず「発火原因」と「着火物」の間に「経過（行為）」が存在します。

火災の原因を突き詰めていくと、どうしても火災を起こしたときの人間の行為を見逃すことができません。それは、人間が生まれながらにして持っている本質的な欠陥である「忘れる」「無頓着」「慣れる」「知らない」「なまける」「失敗する」などが入り混じって、発火原因と着火物との橋渡しをしているといえるからなのです。

あぶない

切り忘れ・消し忘れ

「忘却とは忘れることなり……」という言葉があり、ますが、この「忘れる」という行為は、火災の場合絶対に許されざる行為です。

天ぷらをあげている時に電話があり、「忘れる」、ストーブに灯油を入れているのを「忘れる」など、忘れることから火災になった例は沢山あります。

防火の第一歩は

「だらしないネエ……」と言われる人がいます。

火気の回りを散らかしっぱなしにしたり、部屋の中が乱雑になっけていても平気な人。こういう人には、無頓着な性格の持ち主が多いようです。

おおらかな性格はよいのですが、部屋の中に新聞紙や雑誌が散らかしてあれば、着火物が並べてあるのと同じで、どうぞ火災になってくださいと言わんばかりなのです。

防火の第一歩は、忘れないこともさることながら、整理整頓



●特集「火災を防ぐ」②

ん（着火物が無い）からと言え、るかもしれません。

慎重な上にも慎重に

また、人は同じことを繰り返してやっていると、次第に慣れてしまうものです。初めのうちは、細かい注意を払っていても、長い間事故を起こさないでいると、つい心も緩みがち。こんなとき、火災の芽が潜んでいるといえます。

「失敗は成功のもと」と言われますが、この火災に関しては、失敗は許されません。

奥さんは「火気取り扱いの大ベテラン」のはず……。

「弘法も筆の誤り」ということのないよう、火気の取り扱いには慎重な上にも慎重に。

煙の性質

- 熱気流は呼吸性の熱傷をおこす
- 見通しが悪くなり恐怖感を与える
- 有毒ガスを含んでいる
- 微粒子が肺細胞に入り窒息する
- 煙の上昇は急速である



現在の火災

さて、一度火災発生となれば、現代の火災をよく知ったうえで、適確な対処をすることが大切です。

近ごろの建物は、コンクリートやアルミサッシで外周を囲み、内部は個室化された密室の集合体を形態とするものが多くなっています。また、室内には石油などから作られた化学製品が多くなっています。

このため、一度火災になると、まず大量の煙と有毒ガスが発生し、急速にまん延します。

火災による死者の多くは、この初期の煙によるもので、火災

の恐ろしさが「炎」から「煙」に変わったゆえんはここにあり

煙はまず上に登り、そして天井を伝うので、煙が発生したら身を低くすることが、生命を守る大切なポイントと言えます。

初期消火は5分以内

油や灯油の火が、直接天井に移ることはまずありません。カーテンや障子、壁面などに移り、火の勢いが盛んになってから、天井に燃え移るまでの時間は、3分から5分ぐらい。

備え付けの消火器や消火バケツがあれば、この間に十分消すことができます。

あなたも消せる小さな火



早く消す備え

初期の3分から5分が大きな火災を防ぐカギだとすれば、普段からの備えが重要なポイントになります。

- 消火器や消火バケツを備える。
- 消火器の使い方を記入したものを目立つ場所に貼っておく。
- 普段から風呂桶の中に十分水を蓄えたり、防火用水の用意をしておく。
- 水道のじゃ口の近くにホースを備えておく。
- 燃えているものによって消し方が異なります。普段から最



も有効な方法を心得ておくことも大切です。

まず知らせる

どんな小さな火災でも、火を出したり、発見したら、とにかく大声を出して家族や近所の人に知らせることで。

「火災を出すのは恥だ」と、だれにも知らせず、いつまでも一人で消そうとしたり、逃げてしまつと、火災を大きくするばかりでなく、沢山の犠牲者を出すことになります。

火災は、初めの数分が勝負です。火災を発見したら、早く知らせ、早く消す。

初期のうちに消すことが出来なかつたら、すぐ逃げ出すことも大切です。

- （火災を知らせる方法）
- 大声で「火事だー」と叫んで家族や近所の人に知らせる。
- 火災を知ったらすぐに「119番」へ。電話では、落ちついて、町名、番地、目標になるもの

生活の一部にしよう

火の点検

火災は、注意してしすぎることはありません。

毎日、外出する時や寝る前に火の元のチェックをしましょう。毎日と言うと面倒だ、おっくうだといや気がしますが、生活の一部として習慣づけてしまえば、なんでもないものです。

- 寝タバコの消し忘れはないか。
- ストーブの給油もれはないか。
- チヨットの用事でも幼児だけを置いて外出しない。
- 子供の手の届くところにマッチやライターを置かない。
- 避難ハシゴやロープを備えておく。
- ガスの元栓は締まっているか。

●特集「火災を防ぐ」③

昭和57年度の決算額は一般会計と特別会計合わせて

歳入 60億9,811万円(前年度52億 886万円)

歳出 58億1,980万円(前年度49億8,450万円)

一般会計

収 支

昭和57年度の一般会計決算額は、
歳入 52億1,970万円(44億1,546万円)
歳出 50億388万円(42億3,474万円)
で差引2億1,582万円の黒字となりました。
これは58年度歳入の繰越金として
使用されます。

※()は前年度

歳 入

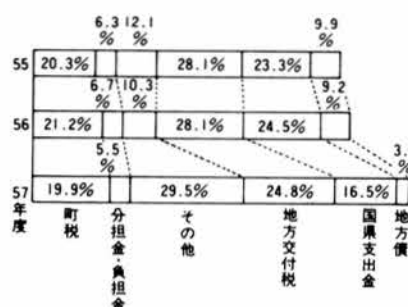
歳入については、対前年度比18.2%
と大幅に伸びており、その内容は下図
のようになります。



その他の内訳としては、

地方債	1億9,600万円
繰越金	1億8,072
分担金	1億4,592
保育料	1億3,984
繰入金	8,000
使用料及び手数料	4,322
その他	2億1,741

となります。

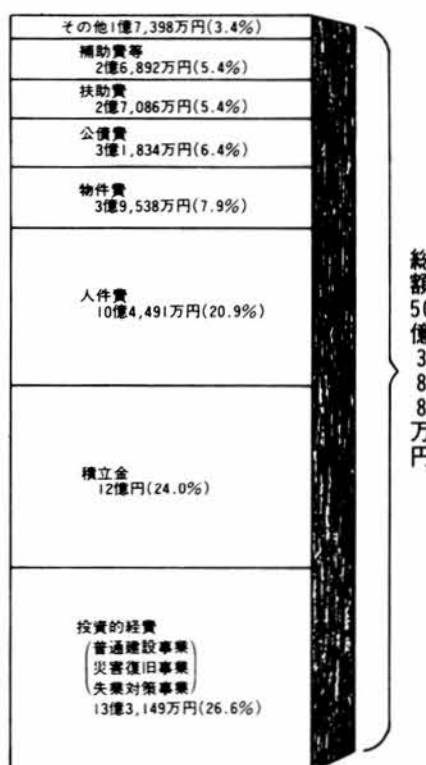


57年度の大きな特徴は、寄附金が大きく伸びたことや、朝日中学校建設事

業が56年度に終了したことなどにも
なう国庫補助金、地方債の減が目立つ
ことです。

歳 出

歳出については、対前年度比18.2%
と歳入と同じ伸びです。とくに新庁舎
建設基金として10億5,000万円の積立て
をしています。義務的経費である人件
費、公債費、扶助費は全体の32.7%を
占め対前年度比で1.3%の伸びとなっ
ています。



歳出の内容を「住みよい町づくり」
「豊かな人づくり」「活力ある産業づ
くり」「行政の推進」の4大施策別に
その主なものを列挙しますと、次のと
おりとなります。

住みよい町づくり

扶助費関係で一般会計から老人医療
が分離され、老人保健医療事業特別会
計が新設されました。



- ▶老人医療費……………1億6,450万円
- ▶山崎保育所建設事業…1億2,005万円
- ▶予防接種と住民検診…… 1,460万円
- ▶都市計画事業…………… 6,316万円
- ▶道路新設改良事業……1億1,431万円
- ▶住宅建設事業……………1億6,051万円
- ▶無雪害街づくり事業…… 4,742万円
- ▶災害復旧事業…………… 2,820万円

豊かな人づくり



- ▶小中学校運営費……………2億5,481万円
- ▶五箇庄公民館建設事業… 6,457万円
- ▶美術館用地買収事業…… 1,846万円
- ▶宮崎小学校グランド照明設置事業
339万円
- ▶商工業振興…………… 6,790万円
- ▶観光事業…………… 1,381万円

活力ある産業づくり

- ▶水田利用再編対策事業… 3,331万円
- ▶農道整備事業……………1億617万円
- ▶農村総合整備事業……1億2,535万円
- ▶林道事業…………… 4,651万円
- ▶山村振興事業…………… 4,594万円
- ▶地域沿岸漁業構造改善事業
2,791万円

次の2事業は57年度で終了しましたが、その年次別経費は次のようになります。

○漁業集落環境整備事業

年度	事業費	財 源 内 訳			
		国庫支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
55	2,780	2,015	100	626	39
56	5,830	4,220	190	342	1,078
57	3,880	2,813		530	537
計	12,490	9,048	290	1,498	1,654

○住宅建設事業

年度	事業費	財 源 内 訳			
		国庫支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
54	9,048	1,354	7,200		494
55	17,273	11,289	4,880		1,104
56	17,273	11,341	4,720		1,212
57	16,051	9,211	3,910		2,930
計	59,645	33,195	20,710		5,740

前年度に比べ

歳入 8億8,925万円(17.1%)

歳出 8億3,530万円(16.8%) 増加



特別会計

	歳 入	歳 出	差 引
国保会計	74,706	70,072	4,634
老人保健 医療会計	7,187	6,324	863
診療所 会 計	3,440	2,779	661
簡易水 道会計	2,067	1,984	83
用水会計	390	389	1
奨学資 金会計	14	10	4
保健文 化賞会計	36	34	2

企業会計(泊病院)

	歳 入	歳 出	差 引
収 益 的 収 入	131,235	135,051	△3,816
資 本 的 収 入	8,725	10,229	△1,504
計	139,960	145,280	△5,320



みんなの広場

みんなの広場は、みなさんのページです。あなたの言いたいこと、あなたの仲間たちや友人の紹介など、どんなことでもけっこうです。役場広報係までどしどしお寄せください。

第4回朝日町美術展

書の部で町展大賞

11月3日から6日までの3日間、第4回朝日町美術展が開かれ、書の部で水島良子さんの「冬の詩」が町展大賞に選ばれました。

そこで今回は、水島さんにスポットを当ててみました。

スポットライト

水島良子さん

◆ 水島さんは、朝日町出身の54歳。昭和24年に東京女子体育大学を卒業され、入善高校、泊高校、新川女子高校で教鞭を執られ、本年3月に退職されたが、9月から社会教育指導員として、町教育委員会に勤務しておられます。

なぜこの仕事を選んだのかとずねると、「30数年間の教員生活に終止符を打ち、これからは社会のために少しでも奉仕したいと思っていたので……」ただ今、勉強中です」といって控えめな答え。

さらに、書道を始めの気になったのは、「動的な毎日を過ごしていた、40歳になった頃、静的（心落ち着く）なことをやりたくて選んだのが書道でした。まわりに立派な人が沢山おられたこともありすが……。下手でも筆を持っていると心が癒やります」とのこと。

また、受賞の感想をうかがうと、「毎回出品させていたでいて、町美術展で、今回大賞をいただけて大変うれしく思っています。時間を大切にして、もっとと精進したいと思っています」とのこと。

さて、真面目一方の人のように思える水島さんも、高校に勤務しておられた10数年前、校内電話で食堂にうどんの注文をしたつもりが、校長室にかかって大変。それから電話はあまりスキではない……。と、ほほえましい話をうかがいました。



町長と語る会

本年も町長と語る会を8月17日の南保地区を皮切りに、11月5日の山崎地区まで10地区で開催いたしました。各会場では示唆に富んだ提言や活発な意見交換があり、その中で各地区で共通した事項を掲載いたします。

問 若人の定住化のための、工場誘致について

答 企業誘致に向けて、役場の組織機構の一部を改正し、商工観光課を新設しました。いま、町長を先頭に、東奔西走、全精力を傾注しております。いましばらくの間、時間的余裕をお願いいたします。

問 特別養護老人ホームの建設について

答 当朝日町は、県下でも最高位の老令化になっており、寝たきり老人等は、120余人

なかまたち

舟川新走ろう会

昭和53年、舟川走ろう会の生みの親である舟川新清流会が発足し、その年の11月から清流会事業の一環として、早朝マラソンを始めました。

爆発的に走ろう会が大きくなったのは、昨年の夏休みも終ろうとしていた頃でした。町民駅伝マラソン大会の選手だけで練習をしていたところ、小・中学生が参加し、その母親もついてくるようになり、ついには孫の走る姿を見ようと、お

じいちゃんまで

小・中学生からおじいちゃんまで



1コースで一位、二位、三位独占
57年11月7日 第5回町民駅伝マラソン大会参加区間賞一名
58年10月30日 大家庄一周駅伝大会二位
58年11月3日 高速道開通記念マラソン大会 3キロの部小学生女子が優勝、次勝

このように、和気あいあいのうちにも実力を養っているのが、舟川新走ろう会です。

問 今後の消雪装置の計画について

答 町道の消雪装置は、県の補助を受け泊市街地内の緊急な路線を昭和57・58年の2か年で施工しております。

問 現在、建設を計画しております役場庁舎の予定地として約八千坪を見込んでおります。将来、役場庁舎に隣接して公共施設の建設を考えており、婦人の家も今後検討していきたいと考えています。

問 下水道の建設について

町外に住んでおられる方「ふるさとへのたより」欄におたよりください。

さわやかさん こんにちは！



山田 かなえさん
(19歳・上横尾)

料理を少しずつ勉強したい

- ★勤務地
（有）明文堂書店
- ★趣味
音楽鑑賞
- ★家族構成
母と姉、3人家族

昭和57年3月に泊高校を卒業し、近くで事務の仕事がやりたくて、同年3月に（有）明文堂書店に入社。伝票整理や仕入れ売り上げの帳簿整理など、事務を担当しています。

今は、書店に勤務しているせいか、少しずつ本に興味を持つようになりました。本といっても、小説しか興味はないのですが。マンガからだいふ卒業したので、環境の影響は大きいなあと思っています。

得意な料理は、ハンバーグ。かんたんに作れるから……。料理は少ししかできません。これから少しずつ勉強したいと思っています。

理想の男性は、頼りがいがある、おもしろい人ならいい。できれば22歳ぐらいで結婚したい。でもむりかもしれない……。

私は明朗で責任感もあるが、そっかしいので……。

福祉 だより



各地区で一人暮らし老人 一日給食サービス会

婦人グループの皆さんが共同で、地域の一人暮らしのお年寄りを招き、手作りの温かい昼食を一緒にいただき、世間話をし、唄を歌ったり、そして、お年寄りから昔ばなしを聞かせてもらうなど、なかなか交歓が幾つかの地区で行われています。

この催し、この取り組み自体、そんなに大げさな事ではありませんが、いま望まれている地域福祉の向上という点では、とても意義深い事といえます。



一日給食

一人暮らし老人を招いて行われる「一日給食サービス会」または「一日慰安会」とは、
①お年寄りに手作りの食事をサービスする。

②お年寄り地域住民との「ふれあい」を図る。
③地域ボランティアの育成及び活動体験。
の三つの目的のもとに行われています。

○楽しい食事をサービス
ひとり暮らしのお年寄りは、一般に食事が単調な内容になりがちです。自分一人の気楽さもあつてか、あり合わせの食事で済ませたり、変化の少ない献立となれば栄養の面も気になりません。また、いつも一人だけの食事という方が多いようです。

そこで、ときには栄養バランスのとれた手作りの温かい昼食を、皆さんで楽しく食べながら、これを機会に簡単な料理のコツを覚えていただくことができます。

○地域のふれあいを求めて
老人福祉施策の向上や老人クラブ活動あるいは趣味などで、お年寄りの生きがいや社会参加の機会は向上しつつありますが、それは未だ十分とはいえませんし、老人は地域の皆さんとの交わりが少ないと思われる。ことに一人暮らしのお年寄りの場合は家族との団らんが欠け、テレビとの対話になりがちです。地域の皆さんとの「ふれあい」、いたわりの中でこそ充実した老後の生活が期待されます。たまには寄り合って、談笑し、歌

ひとり暮らし老人 一日給食会を実施して

境地区日赤奉仕団

水島サツエさん

11月6日、境地区婦人グループによるボランティア活動として、一人暮らし老人をお招きし、一日給食の集いを行いました。

社会福祉協議会から「地域福祉」の活動を支える地区の日赤奉仕団、食生活改善推進協議会、婦人民生委員の団体に、一日給食サービスの実施を依頼されたとき、日赤奉仕団として何か奉仕したいと望んでいた皆の気持ちの協力がたまって、和気あいあいのうちに計画され実行に移されていきました。

少ない予算ではと、野菜、米の持ち寄りが提案され、いとこ汁、野菜の白あえの献立が決まりました。主菜やデザート、材料の仕入れは食改に、また招待状や出欠の担当は民生委員にと、各自の分担が決

初めてのことと不慣れな面もありましたが、お年寄りの皆さんに大変喜んでいただき、地域ぐるみで一味違うふれあいの場を持つことができたことに、私たちも満足でした。

これからも、老いの道が少しでも明るく楽しくあれと、微力を尽していきたいと思

地域福祉の充実をめざして！

を与え、自らも受けることになり、自然な善意の循環となっています。また、ボランティア活動を進んで行うことは、自ら豊かな気持ちの社会人としての誇りを持てるものではないでしょうか。

社会福祉の向上は行政に頼ることは当然ですが、地域内の連帯、助け合いは、やはり近所のお互いの「ふれあい」が基本です。ことに、ひとり暮らしのお年寄りなどハンディを持つ方々を支え合う在宅福祉の充実、地域のボランティア活動が大切といえます。

実施地区

山崎 8・16 山崎公民館
大家庄 11・4 棚山生がいセンター
境 11・6 境公民館
泊 11・7 老人福祉センター
南保 11・21 基幹集落センター
他地区 計画検討中

協力団体の役割

今回の催しは、そんな意味で地域ボランティア活動の推進を願い、各地区婦人グループの共同による自主的運営をお願いしております。

山崎地区 福祉研修会に参加して

山崎辻 谷口民子さん

かな秋風の中、車中の話に花を咲かせているうちに目的地に着きました。

高志更生ホームでは、所長の説明を聞いてホーム内を見学しました。重度の障害にも負けず、藤の物入れ作りやバッグ作り、流木みがきをする人など、皆それぞれに務めに励んでおられる姿に心強さを感じると共に、設備の行き届いた清潔なホームは、障害者の別天地のようでした。

当日は天候に恵まれ、さわやホームを見学しました。



職員の方の説明で、冷暖房完備のきれいな宿舎やクリーニング、写植印刷など各科の作業室を見学しました。

ここでは、高度な機械設備を用いて障害者の方々が働けるように、技術の修得に励んでおられました。皆さんは、障害の程度や能力に応じて懸命に頑張っておられ、その姿を見て私も今まで以上に社会の一員として、精一杯努めなければと思いを強くした一日でした。

老人招待、移送

○町ボランティア友の会

紙しばい、踊り等の協力

○各地区公民館、老人クラブ

支援、協力

○朝日町

栄養士派遣、バス・会場協力

ご意見を！

これまで五地区で「一日給食サービス会」の催しが行われました。

参加されたお年寄りは、「楽しかった、ありがたう」、「みんなと一緒に食事はおいしい」などと喜んでくれたようですが、気軽に参加していただけたことが何よりです。また、参加を遠慮された方もおられますので、再考の余地もあります。

ご苦労をいただいた婦人ボランティアの皆さんには、企画運営、そして手づくりの料理、さらに会食という面を通じて、新しいボランティア活動を体験していただきました。反省点と共に、地域ボランティア活動の何かを感じたという声を聞きます。社会福祉協議会では関係者のご協力により新たな事業を試行させていただきますが、この催しを通じて関係者はもとより、町民の皆さんのご意見をお伺いし、今後も地域の福祉充実を求めたいと考えております。協力していただいた方々には深く感謝

謝申し上げます。

歳末たすけあい 運動にご協力を！

社会福祉協議会では今年も「みんなそろって明るい正月を」のスローガンで、歳末たすけあい運動を15日まで展開します。町内会長さん、民生委員の方のご協力を願い「愛の袋」を配付しますので、皆さんの協力をお願いします。なお、募金目標額は各世帯300円以上をお願いいたします。

福祉功労で表彰

(敬称略)

全国社会福祉協議会長表彰

林 得 明(福祉活動)

富山県社会福祉協議会長表彰

朝日理美容ボランティア

グループ(奉仕活動)

下新川郡社福連絡協議会長表彰

野末みのる(母子福祉)

館 昭一郎(児童福祉)

佐味野園芸ボランティア

グループ(奉仕活動)

朝日町社会福祉協議会長表彰

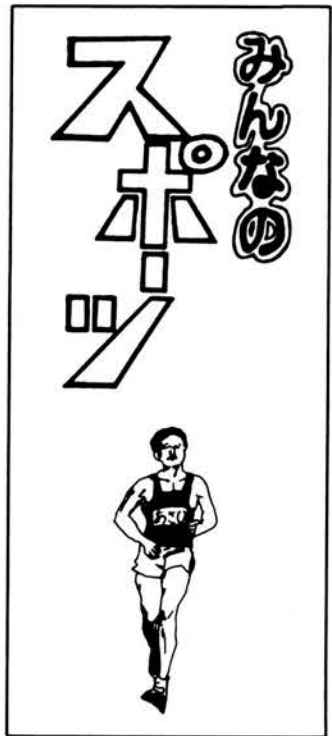
山本常次郎(老人福祉)

長井佐恵松(遺族福祉)

九里 舎義(傷い軍人福祉)

森岡 啓二(身障福祉)

廣田 克美(児童福祉)



大家庄Aチーム初優勝

第6回町民駅伝マラソン大会

第6回町民駅伝マラソン大会は、11月6日、絶好のマラソン日和に恵まれて泊病院前をスタート、総合体育館をゴールに約17キロコースで、地区対抗の部14チーム、クラブ対抗の部29チーム、女子の部10チーム、昨年より12チーム多い53チームが参加して熱戦が展開されました。地区対抗の部では大家庄体協Aチーム、クラブ対抗の部では朝日中野球部Aがそれぞれ初優勝をとげ、女子の部では朝日中バレー部Aが2年連続で優勝をかざりました。今回は3部門とも大会新記録で優勝し、レベルアップがみられた大会でした。

①朝日中サッカーA 61分12秒
②朝日中サッカーA 61分12秒
▽女子の部
①朝日中バレーA 68分47秒
②かもしかクラブ 70分58秒
▽区間賞(地区対抗)
第一区間 江洲兼一 8分01秒
第二区間 青島研一 8分31秒
第三区間 浜川啓輔 9分38秒
第四区間 伊藤政博 10分35秒
第五区間 鍋島俊雄 11分21秒
第六区間 岡田浩義 7分20秒
▽区間賞(クラブ対抗)
第一区間 島田 元 7分58秒
第二区間 大橋成人 8分43秒
第三区間 酒井博明 10分11秒
第四区間 長谷和也 12分19秒
第五区間 谷口 靖 11分37秒
第六区間 大村 賢 6分17秒
▽区間賞(女子の部)
第一区間 川瀬亜紀子 9分54秒
第二区間 水島潤子 9分49秒
第三区間 由井優子 11分22秒
第四区間 笹川恵子 13分57秒
第五区間 由井咲子 13分25秒
第六区間 横越博子 8分27秒

境A(小)宮崎(中)初優勝

朝日町児童クラブ連合会(会長佐渡庄市)は第2回朝日町児童クラブ(女子)ビーチバレーボール大会を11月6日午前9時から町民総合体育館で行い、小学生の部は境Aチーム、中学生の部は城山スルドイゼチームが初優勝を果しました。今大会は各町内単位児童クラブより、小学生17チーム98名、中学生19チーム100名の選手が参加して行われました。本大会では、各チーム共に技能の向上が目立ち、特に小学生

はチームワークがよく、トス・スパイクとリズムに乗った好試合が展開され、会場を湧かせました。(対戦成績)
○準決勝(小学生の部)
月山 2-0 城山(中)
境(A) 2-0 赤川
○決勝戦(小学生の部)
境(A) 2-0 月山
○準決勝(中学生の部)
月山(A) 2-0 清水町
城山スルドイゼ 2-1 草野
○決勝戦(中学生の部)
城山スルドイゼ 2-1 月山(A)

泊バスケットクラブ

優良体育 スポーツ団体表彰

11月3日に富山県庁4階大ホールで開かれた昭和58年度教育功労者等表彰式において、泊バスケットボールクラブ(会長加藤常助)が優良体育スポーツ団体表彰を受けました。

これは、当クラブが昭和30年8月に設立されて以来、競技力の向上と地域スポーツの普及に努めたこと、そして、バスケットボールスポーツ少年団や地区バスケットボールクラブを積極的に指導・育成するとともに、交流会や諸事業を主催して、青少年の健全育成と地域スポーツの振興に努めるなど、その功績が高く評価され、今回の受彰となったものです。

水野智君 国体へ！

去る10月15日(土)から20日(木)までの6日間にわたり、群馬県において第38回国民体育大会秋季大会が開催され、朝日町から槍投げで水野智君(山崎)が参加され、郷土の代表として立派に活躍されました。

百Mハードルに県中学新

朝日中 稲村琢子さん
去る10月29・30日、東京国立競技場で、第14回ジュニアオリンピック陸上競技選手権大会があり、100Mハードルの最高記録15秒0以内の選手40名で競い合った。稲村さんは、予選を通過し準決勝へとベストをつくしました。そのときの記録は、県内最高の14秒96を0.11を破る14秒85の新記録でした。これまでの努力と根性をたたえ、これからの活躍を期待します。

朝日中運動部大会成績

新川地区中学校 新人選手権大会		新体操	
男子バスケットボール	3位	個人戦	1位 田中かおり
女子バスケットボール	3位	陸上競技	2位 長津雅美
女子バレーボール	2位	個人	3位
女子テニス	1位	走高跳	3位 岩城太二
男子卓球	3位	走高跳	3位 長谷和也
女子卓球	3位	柔道 団体	1位
個人戦1位	川上千春	個人戦	45kg級 2位 山本有造
男子バドミントン	3位	68kg級	1位 水島光一
		75kg級	1位 坂口貴彦
		75kg超級	1位 河村陽一
			1位 水野 淳

カゼの予防

カゼの予防といっても、これなら絶対にかからない」というような方法や妙薬があるわけではありません。どんな病気にも言えることですが、基礎的な体力や病気に対する抵抗力を十分につけて、病原体のついているスキのない生活をしていけば、そうやすやすとはカゼをひきませんし、万一ひいても軽くすみませう。つまり、ふだんの生活が大切で、過労や睡眠不足などをさげ、十分な栄養をとり、規則正しい生活を心がけ、いつも心身を健康な状態に保つということにつ

カゼをひいたと気づいたらカゼを治すのは医者でも薬でもありません。自分の体です。自分自身の体力・抵抗力がカゼを治すのです。薬や医者はあくまでも補助的な手段と心得るべきです。そして、なによりもまず、①安静、②保温、③栄養。カゼはひきはじめるが肝心。ちよつとでもやられたなと感じたときは、すぐさま、からだを暖かくしてさっさと寝ることです。そして消化のよい暖かいものを食べることです。

カゼをひいたときの食物
くしゃみや鼻汁が出はじめた、微熱、軽い頭痛のときには、なるべくからだを動かさないようにして、あたたまるものを飲食しましょう。
熱いうどん、熱いみそ汁、鍋物、あたたかい牛乳などです。

富山県中学校
新人選抜大会
走高跳 3位 岩城太二
女子バレーボール 3位
女子卓球 予選リーグで敗退
新体操 予選リーグ優勝校
柔道 小杉中と引分け、ポイント差で敗退
ピタミンA。これはカゼをシャットアウトするのにもつとも有効な栄養素。Aの多い緑や黄や赤の色のついた野菜といっしょに料理するといっそう効果的です。それに、良質のタンパク質や脂肪に富んだもの、ピタミンC、Bを含んだものをとるのがポイントです。

愛の献血

—10月実施分—

境地区 室とみ子、室辰男、水島久美子
宮崎地区 嘉義陽子、嘉義岳春、水島利晴、水島和人、水島昭二、田中今朝明、竹谷昌矩、水島誠、松本研一、松本京子
笹川地区 堀内英顕、折谷哲明、長井紀美代、小林一幸、長井雄成、小林千代美、深松久子
泊一區 舟橋誠、土居祥浩、竹内由美子、島端明子、白本博、水見徳太郎、越坂邦夫、根建俊勝、新田訓、大谷瑞枝、魚住百合子、谷口道子、梅津裕美子、水島吉範、梅沢よし子、阿部憲子、大島喜芳
泊二區 水島義武、松原志好、尾山幸郎、田中秀夫、金井彰、齊藤和子、柚木正則、真岩朋子、小幡範子、寺田孝一、福島みえ子、谷中正子、前川弘子、松原修一、清水勝義、竹内秀孝、土井聡、長谷純子、舟見恵一
泊三區 岩田一美、平坂正治、平沢重希子、勝田浩美、瀬沼

トピックス

10月21日～11月19日



10月23日 五箇庄小学校創校百周年

五箇庄小学校は、明治16年に月山、月山新を学区に校名「自治小学校」として創校されたのが始まりで、今年で百年になります。

その記念式典が10月23日の午前9時半から関係者約120名と全校児童197名が参列して盛大に行われました。

式は、金山校長の式辞、町長、議会議長の祝辞の後、河村PTA会長の謝辞、道用児童会長のお礼のことばがあり、同校勤務10年以上の教職員川上嘉一氏外7名の方に、山本校友会長（五箇庄地区区長。記念事業実行委員長）から表彰状が贈られました。

さらに、町長から高額寄付者33名の方々の代表長井栄作氏に感謝状が授与されました。

終わりに、全校児童による記念演奏を演じたあと、昭和15年に制定された現校歌「潮なす有磯海」（広川親義作詞、黒坂富治作曲）を合唱し、児童、参列者ともども百年の歴史に感激と想いを新たにして、式典の幕を閉じました。

10月23日 棚山の堤で鯉あげ

朝日町錦鯉愛好会では、今年の4月に1,600尾を棚山の堤に放流し、養鯉していましたが、10月の23日と30日の両日、会員全員が集まって鯉あげを行いました。

そして、その一部を泊病院、山崎小学校、大家庄小学校など町関係施設に寄付される予定になっています。



10月29日 唄と踊りの競演「ふれあい祭り」

恒例となった朝日町の福祉祭り、第4回の今年は「置県百年記念協賛福祉ふれあい祭り」として、この日老人福祉センターで開催されました。

この「ふれあい祭り」は、福祉10団体が参加し、とかく引込み思案になりがちな会員の社会参加と相互のふれあいを目的とした演芸の交歓会で、舞台と約250名の客席が一緒になった楽しい催しです。

演芸合戦では、各団体からカラオケの演歌をはじめ、民謡、郷土芸能、創作舞踊など多彩な出し物があり、高いレベルの演技と見事なチームワークが

発表され、審査員も採点に大変苦労されたようです。

- 団体賞 最優秀賞 ひまわり会
- 優秀賞 母子福祉会
- 良賞 老人クラブ連合会
- 特別賞 平野あや子(傷い軍人会)
- 水野文子(老人クラブ連合会)
- 水島みつえ(遺族会)
- 入江久(ボランティア会)



10月30日 山崎山村広場竣工

山村広場竣工式典が関係者の参列を得て、午前8時半から行われました。

同広場は、スポーツとレクリエーションの振興等、定住環境づくりを目的として施工され、運動場7,700平方メートル、駐車場(29台収容)、便所、水道施設、そして照明施設が設置され、夜間も利用できるようになりました。



11月4日 農業機械運転技能競技大会

朝日町農業機械士会では、農業機械の利用効率化、農作業事故の防止等を推進するため、この日朝日町中央農協生産センター前で農業機械運転技能競技大会を開催し、見事谷口敏・清水英信チームが優勝の栄に輝きました。

当日の成績

- 優勝 谷口 敏・清水英信チーム
- 次勝 伊藤 勇・伊藤静史チーム
- 参勝 清水三郎・近藤康広チーム

11月14日 お座敷列車「朝日町民号」出発



泊駅特急停車1周年記念及び特急列車停車拡大事業として企画実施されました「朝日町民号」は夢と希望とそして“家康史跡めぐりとみかん狩りの旅へ”総勢215名の参加者を乗せて、14日夕刻に出発しました。

天候にも恵まれ、お座敷列車の中では、民謡や踊り、カラオケ大会など町民の憩いの場となり快適な旅でした。

大森常次氏 富山県農林漁業者 功労者賞を受賞



富山県農林漁業祭の一環として県農林漁業の振興に功労のあったものを富山県農林漁業振興会(会長・中

沖富山県知事)が表彰していますが、今年度の功労者に高島の大森常次氏が選ばれ、このほど県庁において表彰式が行われました。

大森氏は、昭和41年以来土地改良区の事務局長及び理事長として、ほ場整備並びに基幹農業用水施設の整備など土地改良事業を推進され、地域農業の振興に尽くされたことが認められたものです。

消防団員表彰

去る11月6日朝日町消防団の秋季演習が実施され業務訓練のあと長年消防業務に功績のあった優良団員に対する表彰などがありました。

○富山県知事表彰

- 第1分団 団員 青島末次
- 第1分団 団員 水野敏男
- 第2分団 団員 藤田隆盛
- 第2分団 団員 小川義盛
- 第3分団 団員 川上実
- 第4分団 班長 平坂秀雄
- 第5分団 団員 松倉秀夫
- 第6分団 班長 末上淳一

○消防団長表彰

- 第1分団 団員 鍋島佐一
- 第2分団 団員 吉田清光

- 策3分団 団員 上田豊
- 第4分団 団員 福平美代志
- 第5分団 団員 竹内義則
- 第6分団 団員 浜田隆昭

○町長永年勤続退団感謝状

- 元第1分団 副分団長 山本篤而
- 元第1分団 班長 水上義雄
- 元第1分団 班長 小坂広丸
- 元第1分団 団員 谷口敬三
- 元第1分団 団員 更田和作
- 元第2分団 分団長 伊藤一郎
- 元第2分団 団員 坂口弘
- 元第3分団 団員 中島英輔
- 元第4分団 班長 西岡正夫
- 元第4分団 団員 沢本喜八
- 元第5分団 部長 勝田庄一
- 元第5分団 部長 島端武雄
- 元第5分団 班長 長井宗義
- 元第5分団 団員 島端勉

善意の預託

朝日町善意銀行

社会福祉のためにと次の方々から善意の預託がありました。

♡小川建設工業(株)給油所さんより
下・中新川地区危険物安全協会の消
火競技大会入賞の副賞金を

1,000円

♡三枚橋 藤井敏弘さんより亡母のい
さんの供養として、三枚橋老人会に
指定寄付

30,000円

♡池谷町 吉田彦一さんより基幹集落
センターへ指定寄付

カラオケセット一式

♡上横尾 島端トシエさんより

1,099円

南赤桜平平清幸東東宮
保川町区区町町浦下崎
越川南平池長小魚草竹
田渡茂坂原井杉住谷
順孝義のイ與ははス
次(實)(尚)(宗)(を)(上)(四)(長)(る)(な)(ギ)
(75)(59)(35)(55)(86)(67)(73)(84)(83)(69)

おくやみ



羽窪新辻笹高町町上桜新向赤沼中沼新西高西
入田県崎川島保保町町県町保保県町浦浦
仙石原安長長南南上澤平西松中中大須富中大
名井達井谷部部杉谷塚島田島陣村賀樫島村
寿雅静慎真利恭正てる裕朝雅昌雅成春正由
美子博江吾美幸子平一子樹子繁美彦江治浩

○宮 荒川四丁目 柳 水
千宮 葉崎 武加柳 藤藤澤島 文真智伸 江仁子人

おしあ
わせに



下藤花小池草月平榮清水上幸大笹宮宮
野塚房池町野山区町町町屋川崎崎
川瀨雄治二女紗貴子 富岡達信三男要 小山浩長女奏子 九里正憲長男英賢 吉田正雄二女美智子 上田孝光長女利乃 西田隆長女有佳莉 山崎秀行長男秀一郎 永井孝之二男講平 下沢康博長女綾乃 魚津博文長男敬和 大澤英規長男隆之 荒尾和彦長男紀子 折谷植一長女明子 吉本久信長女優子 竹林悟長男亨 水島邦彦長男直人 水島治彦長男志郎

おすこ
やかに



図書館だより



朝日町立中央図書館

お知らせコーナー

クリスマスこども会

日時 12月24日(日)

午後1時30分～3時

会場 福祉センター研修室

対象 小学校低学年

ご寄贈ありがとうございました

「土とふるさとの文学全集」

全15巻

寄贈者 藤田留吉氏

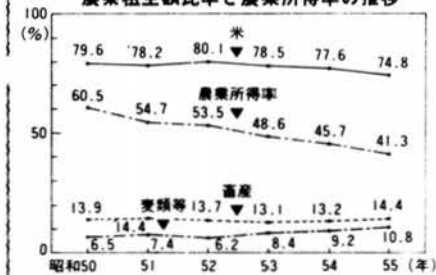
まちの姿⑤

「統計あさひ」より

富山県農林水産年報によれば、朝日町の昭和55年度から過去5年間の農業粗生産額は、昭和53年度を境にゆるやかな減少傾向を示しており昭和55年度では、3,031百万円であった。昭和55年度の農業粗生産額の内訳をみると、米が74.8%、麦類等の耕種は10.8%、畜産が14.4%を占めている。これを過去6年間の推移でみると、米の生産額が減少を示しているのに対し、麦類等の耕種は水田利用再編対策に伴う転作奨励のために増加を示し、畜産はほぼ横ばいとなっている。

農業所得率（農業所得÷農業粗収益×100）をみると、過去6年間において減少の一途をたどり昭和50年度には54.7%であったのが、5年後の昭和55年度には10%以上減の41.3%となっている。これは農産物価格が低迷しているのに対し、農業生産資材の高騰、農用機械の減価償却費の増加等が原因となっており、今後ますます農業所得率が減少し農家の農外所得依存度が高まってゆくものと思われる。

農業粗生産比率と農業所得率の推移



読書感想

「あしながおじさん」

泊小6年 長津 由美子

安全な食品100種 ナショナル出版

怖い食品100種 ナショナル出版

仏教を読む ③ 平田精耕

ボカボカあたたためてグングンやせる 島山みどり

年賀状'84図案特選 青人社



新しい本

(一般図書)

「あしながおじさん」は、わたしが今までに読んだ物語と少しちがっていて、手紙がそのままでの文章に使われており、自分も誰かに手紙を出したくなるような不思議な物語です。そして、読んでいくたびに物語がどれだけすばらしいものかを教えられ、わたしの心の中には一つ一つの感動がよみがえり、いつまでも心にやきついていきます。読書の秋には、「あしながおじさん」のような本をたくさん読んで見ようと思います。

年賀状を個性的におくりたい人へ！「ねずみの図案1200大集合」「ねずみの描き方教室」などとおきのつくり方を集めた本です。(小説)

逢うには遠すぎる
キャバレー
ひとのふんどし
女人用心帖
おしん ③ 流浪篇
神話列車殺人事件
がん病棟の隣人
北方謙三
栗本 薫
池波正太郎
多岐川 恭
橋田壽賀子
西村京太郎
中島みち



乳がんにおかされ、死に近づく女性と生に復帰する女性を対比しながら、死と対決する人間の心理を描く。(児童書)

小さなスプーンおばさん
スプーンおばさんのぼうけん
アルフ・ブリーヨイセン
子じかものがたり(低学年)
子じかものがたり(中学年) 偕成社

今月の表紙



野中保育所にて

寒くなると、カゼが流行します。スポーツと健康のページ(13ページ)でも「カゼの予防」について記述しましたが、カゼの予防には、絶対という妙薬はありません。普段からの心がけが大切です。

この時期、寒さのために体が冷やされると、血のめぐりが悪くなり、ウイルスや細菌に対して抵抗が弱くなることからカゼにかかりやすくなります。

このため、普段からの体づくりとともに、「うがい」の励行もカゼの予防には有効な方法といえます。お父さん、お母さん、外出後はお子さんと一緒に、「うがい」をしませんか！

広報室

▼一年は長いようでも過ぎてしまえば、アツと言う間。

今年最後の広報あさひをお届けします。

今回は、「冬に向って多くなるもの」つまり火災とカゼについて取り上げました。参考にしたいだければ幸いです。